

## 民泊事業等「シェアリング・エコノミーサービス事業」に参入

### ～民泊・簡易宿所事業をはじめとする新たな事業領域創出を目指す～

あなぶきグループ（あなぶきハウジンググループ・あなぶき興産グループ、代表 穴吹忠嗣）は、民泊・簡易宿所事業をはじめとするシェアリング・エコノミーサービスの拡充を目的とした新会社「株式会社あなぶきスペースシェア」（本社 高松市紺屋町 3-6、代表取締役 平山俊一）を2018年2月1日にて設立し、業務を開始します。

#### ■ 目的

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催や国際線LCC台頭を背景に、訪日外国人旅行者が増加の一途をたどっており、地方都市においても宿泊施設の整備が急務となっております。その一方で、少子高齢化が進む日本全体の問題として「空き家」の急増が言われており、それらの問題を解決する手段の一つとして、2018年6月に住宅宿泊事業法（民泊新法）が施行されます。

このような状況下で、あなぶきグループでは、不動産ソリューション事業・賃貸管理事業・ホテル事業・清掃事業・トラベル事業など今まで培ってきた総合力を活かすことができる民泊・宿泊市場を新たな事業領域と捉え、立地の良い賃貸マンションや一戸建て等の空室をリノベーションするなどして、良質な宿泊施設を全国各地で供給ししていき、新たな宿泊需要創出と社会的課題の解決に努めてまいります。

#### ■ 今後の予定

第1号案件としては、既に昨年12月末に自社が所有する単身者用賃貸マンション「アルファレガロ古新町」の2室について、簡易宿泊所の許可を取得し、「AlphabedPremium 高松古新町」として試験運用を開始しております。当該試験運用と、当社グループがこれまで培ってきたホテル運営、マンション管理等のノウハウを活かし、5年後には全国で約500戸の運営を目指します。

あなぶきグループでは、社会的課題解決を新規ビジネスに繋げていくCSV経営（＝Creating Shared Value～共通価値の創造～）を重点戦略に掲げており、今後は、当該事業を皮切りに様々なシェアリング・エコノミーサービスを展開し、新たな顧客価値を創造してまいります。



#### ※シェアリング・エコノミーサービスとは

空き家などの個人が保有する遊休資産（無形のものも含む）の有効活用を仲介するサービスであり、貸主は遊休資産の活用による収入、借主は所有することなく利用ができるというメリットがある。

<本件に関するお問合せ先>

あなぶきハウジングサービス HGイノベーション戦略本部 生山 亨 Tel 087-806-0123

あなぶき興産 グループ統括部 岡田 Tel 087-802-5112